

研究計画「同種造血細胞移植サバイバーにおけるポリファーマシーの横断的研究」について

研究責任者：東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野
小沼 貴晶

【はじめに】

造血器疾患に対する根治的治療法の一つである同種造血細胞移植は、技術革新により、生存率が飛躍的に向上しています。その結果、同種造血細胞移植後の長期生存者における様々な問題点が注目されております。高齢化社会を迎えた先進国では、複数の併存疾患を抱えた患者において、複数の内服薬を要するポリファーマシー(polypharmacy)が問題となっています。ポリファーマシーの問題点としては、薬物有害事象や薬物相互作用のリスク増加、服薬過誤、医療費増大等につながる事が懸念されています。本研究では、同種造血細胞移植後に当院の血液内科外来を受診したサバイバーに関して、ポリファーマシーの割合や危険因子に関して調査します。なお、この研究は東京大学医科学研究所倫理審査委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

東京大学医科学研究所附属病院の血液内科外来に通院している同種造血細胞移植を受けた20歳以上の患者様を対象としています。ご協力いただきたいことは、該当する患者様の診療情報を本研究に使わせていただくことです。使用する診療情報は、通常診療で得られたものののみであります。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療情報：血液検査データ、年齢、性別、疾患名、疾患病期、移植後合併症、前処置、移植片対宿主病の予防、内服薬の数や種類、慢性移植片対宿主病の発症状況など

【研究期間】

2023年7月8日～2025年3月31日

【研究参加の辞退について】

対象となる患者様の診療情報が研究に使用されることをご本人(もしくはその代理の方)が希望されない場合は、下記問い合わせ窓口までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、それ以降、患者様の診療情報を本研究に用いることはなく、辞退によって患者様が不利益を被ることはありません。しかしながら、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究の方法】

東京大学医科学研究所附属病院に同種造血細胞移植後で外来通院している 20 歳以上の患者様の診療情報についてデータを調査して、同種造血細胞移植サバイバーにおけるポリファーマシーの発生率や危険因子に関して調査します。

【個人情報保護の方法】

診療情報を使わせていただくにあたっては、患者様を識別できないような登録番号を用います（匿名化）。登録番号と個人情報の対応関係を記した表（対応表）は血液腫瘍内科・造血病態制御学分野の鍵のかかる保管庫にて厳重に管理します。

【研究終了後の情報・データの取り扱い】

個人情報を記載した対応表は、研究終了又は研究成果の発表後、研究責任者が 5 年間保存した後にシュレッダーにて廃棄します。研究データは、引き続き匿名化した状態で保管します。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報は厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

【研究実施体制】

研究責任者

小沼 貴晶 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 准教授

【問い合わせ窓口】

この研究についての質問やご自身やご家族のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合など、この研究プロジェクトに関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

研究責任者 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 小沼 貴晶

〒108-8639

東京都港区白金台 4-6-1

TEL:03-3443-8111

FAX:03-5449-5429

E-mail:tkonuma@ims.u-tokyo.ac.jp